

目名	科名	種名	目名	科名	種名
(チョウ)	(メイガ)	Pyraustinae sp.	(チョウ)	シヤクガ	ウスハラアオシヤク
	セリチョウ	sp. アオバセリ ミヤマセリ キマダラセリ イチモンジセリ チャバネセリ オオチャバネセリ コチャバネセリ			ギンズジアオシヤク クロモンアオシヤク アカネシメアオシヤク コヨツメアオシヤク ウスアオシヤク ヒメツバメアオシヤク カギシロスジアオシヤク キマエアオシヤク ヨスジキヒメシヤク モンウスキヒメシヤク クロテントビヒメシヤク ヒトツメオシロヒメシヤク クロテンシロヒメシヤク ナミスジヒメシヤク クロスジシロヒメシヤク ヨツボシウスキヒメシヤク キナシロヒメシヤク フトベスジヒメシヤク ホシスジトナリナシヤク ツマキナカゾロナシヤク クロスジアオナシヤク オオハガタナシヤク ヘリスジナシヤク ハコベナシヤク キアミナシヤク ハガタナシヤク セスジナシヤク コウスゴモナシヤク シロシタトビイロナシヤク アトクロナシヤク クロフシロナシヤク ホソバナシヤク ツマゴロナシヤク クロマダラエダシヤク ヒメマダラエダシヤク ナカウスエダシヤク クロクモエダシヤク オオヨスジアカエダシヤク ヒョウモンエダシヤク キンタエダシヤク フタテンオエダシヤク ツマトビエダシヤク ウスオエダシヤク カバエダシヤク ウコンエダシヤク キオビゴマダラエダシヤク トンボエダシヤク マツオオエダシヤク ハスオビエダシヤク ヒロオビエダシヤク オトビエダシヤク ウストビスジエダシヤク ツマキリエダシヤク エグリエダシヤク ウラベエダシヤク サザナミオビエダシヤク クロスジハイイロエダシヤク オオバナミガタエダシヤク ウスバミスジエダシヤク ハミスジエダシヤク チャノウンモンエダシヤク
	アゲハチョウ	アオスジアゲハ カラスアゲハ モンキアゲハ オナガアゲハ ナガサキアゲハ クロアゲハ ナミアゲハ			
	シロチョウ	ツマキチョウ キチョウ ツマゴロキチョウ スジホソヤマキチョウ スジゴロシロチョウ モンシロチョウ			
	シジミチョウ	ミスイロオナガシジミ ウラゴマダラシジミ 黒リシジミ ツバメシジミ オオミドリシジミ アカシジミ ウラナミアカシジミ ベニシジミ ムラサキシジミ ゴイシジミ トラフシジミ ヤマトシジミ ウラギンシジミ テングチョウ サカハチチョウ ミドリヒョウモン メスゴロヒョウモン スミナガシ 黒リサテハ ヒメアカサテハ イチモンジチョウ クモガタヒョウモン コムシジ キタテハ オオムラサキ アカタテハ			
	ウラギンシジミチョウ	ウラギンシジミ			
	テングチョウ	テングチョウ			
	サテハチョウ	サカハチチョウ			
		ミドリヒョウモン メスゴロヒョウモン スミナガシ 黒リサテハ ヒメアカサテハ イチモンジチョウ クモガタヒョウモン コムシジ キタテハ オオムラサキ アカタテハ			
	ジャノメチョウ	キマダラモドキ クロヒカゲ ヒカゲチョウ ジャノメチョウ コジャノメ ヒメジャノメ サトキマダラヒカゲ ヒメウラナミジャノメ			
	カギバガ	マエキカギバ オガサワラカギバ ヤマトカギバ アシベニカギバ			
	トガリバガ	ギンモントガリバ モントガリバ			

目名	科名	種名
(チョウ)	(シメジ)	ウスクモエダシヤク
		マエトヒエダシヤク
		エグリツマエダシヤク
		コヨツメエダシヤク
		ウスネツバメエダシヤク
		クロスジフユエダシヤク
		ウスアオエダシヤク
		ツマキリウスネエダシヤク
		ゴマダラシロエダシヤク
		オオゴマダラエダシヤク
		ナカキエダシヤク
		コナフキエダシヤク
		ニセオレクキエダシヤク
		ニッコウキエダシヤク
		フタヤマエダシヤク
		ウスムラサキエダシヤク
		ハダカマエダシヤク
		スジハダカマエダシヤク
		キマダラツバメエダシヤク
		ミヤマツバメエダシヤク
		トギリエダシヤク
		モンシロツマキリエダシヤク
		ミスジツマキリエダシヤク
		Alcis sp.
		Cleora sp.
		Heterolocha sp.
		Jodis sp.
		Lomographa sp.
		Scopula sp.
		Semiothisa sp.
		Sterrinae sp.
		アゲハモドキガ
	カレハガ	キンモンガ
		スシカレハ
		マフカレハ
		ツガカレハ
		リンゴカレハ
	オビガ	タケカレハ
		オビガ
	ヤママユガ	クスザン
		ヤママユ
	スズメガ	ウンモンズズメ
モモズズメ		
クチバズズメ		
ブドウズズメ		
ハネナガブドウズズメ		
クマルズズメ		
ホシホウジャク		
ハイバシロシヤチホコ		
ホソバシヤチホコ		
カバヒロモクメシヤチホコ		
ウスネシヤチホコ		
ツマキシヤチホコ		
ハガタエグリシヤチホコ		
ギンシヤチホコ		
ウスイロギンモンシヤチホコ		
アオバシヤチホコ		
ドウガ	ヒメシロドウガ	
	リンゴドウガ	
	ゴマフリドウガ	
	マイマイガ	

目名	科名	種名
(チョウ)	(ドウガ)	カシノマイマイ
		ブドウドウガ
		ヒメシロモンドウガ
		ニワトコドウガ
		マエグロホソバ
		アカスジシロコウガ
		ヤホホソバ
		ムジホソバ
		キマエホソバ
		ニセキマエホソバ
		ヨツホソバ
		ハガタベニコウガ
		スジベニコウガ
		シロヒトリ
		スジモンヒトリ
		アカハラゴマダラヒトリ
	カクモンヒトリ	
	キハラゴマダラヒトリ	
	コブガヤガ	クロスジコブガ
		アカフヤガ
		クワケンモン
		スギタニアケンモン
		ナシケンモン
		イチモンジキ/コヨトウ
		キ/コヨトウ
		シロスジキ/コヨトウ
		オオバコヤガ
		ウスイロアカフヤガ
		クワクモヤガ
		ウスイロカバズヤガ
		キシタミドリヤガ
		ハイイロキシタヤガ
マエキヤガ		
ウラギンキヨトウ		
キンイロキリガ		
アヲヨトウ		
ホソバセダカモクメ		
カラスヨトウ		
フサクビヨトウ		
フタオビキヨトウ		
フタスジヨトウ		
アオバハダヨトウ		
ヘーネアオハダヨトウ		
ノコメトガリキリガ		
オオウスバカラスヨトウ		
オオシマカラスヨトウ		
シマカラスヨトウ		
ネスジシラクモヨトウ		
テンウスイロヨトウ		
シロテンウスグロヨトウ		
シロモンオビヨトウ		
ヒメギビシヨトウ		
モクメヨトウ		
ノメセダカヨトウ		
マエホシヨトウ		
モンオビヒメヨトウ		
チャオビヨトウ		
ミドリリンガ		
ハイイロリンガ		
クワオビリンガ		
アオスジアオリンガ		
サビイロコヤガ		

目名	科名	種名
(チョウ)	(ヤガ)	クハナコヤガ カバロシマコヤガ シロスジマコヤガ シマコヤガ モンキコヤガ ネジロコヤガ フタネシコヤガ フタオビコヤガ モンシロクハコヤガ アトキスジクハコヤガ シロマダラコヤガ シロコヤガ シロオビクハコヤガ イチジクキノウバ フクラスズメ コシロシタバ オニベシタバ マメキシタバ アミメキシタバ シロシタバ キシタバ コガタキシタバ モンムラサキキクチバ オトモエ ムクゲコノハ シロスジトモエ ニセウンモンクチバ ウンモンクチバ 黒リモンクチバ アケビコノハ クロチンカバアツバ コウンモンクチバ オオエグリバ アカチンクチバ クビグロクチバ ヒメクビグロクチバ ベントガリアツバ ムラサキツマキリアツバ キキシアツバ マダラエグリバ クロスジヒメアツバ ウスオビヒメアツバ ヤマガタアツバ シラナミクロアツバ フタスジアツバ シロスジアツバ ハナオイヤツバ キシタアツバ オオシラネシアツバ ウスキミスジアツバ トビスジアツバ ヒロオビウスグロアツバ ソトウスグロアツバ ヒゲブトクアツバ オオアカマエアツバ ニセアカマエアツバ ムモンキイアツバ ツマオビアツバ ヒメツマオビアツバ ツマテンコブヒゲアツバ ヒメコブヒゲアツバ Amphipyra sp.

目名	科名	種名
(チョウ)	(ヤガ)	Amyna sp. Athetis sp. Hepatica sp. Hypena sp. Nycteola sp. Polia sp. Schrankia sp. Zanclognatha sp. sp.
21目	280科	1538種

注) sp. とは、属または属以下の同定が不可能であった種を示す。

綱名	目名	科名	種名
渦虫	三岐腸	方ナリ7	方ナリ7 科の一種
黄毛	原始黄毛	ミズミズ	ミズミズ 属の一種 ニセミズミズ 属の一種 トナリミズミズ属の一種 ミズミズ 科の一種
		トミズ	トミズ コリミズ ヨロイトミズ属の一種 トミズ 属の一種 トミズ 科の一種
			黄毛綱(ミズ類) の一種
蛭	咽蛭	イシビ	イシビ ナシイシビ イシビ科
腹足	中腹足	タニシ	オオタニシ
		カニナ	カニナ
甲殻	等脚	ミズムシ	ミズムシ
	端脚	ヨコエビ	ニホノヨコエビ
	十脚	ヌマエビ	ミナヌマエビ
		サワガニ	サワガニ
昆虫	ガロウ	ワカガロウ	マダロヒメワカガロウ
		ヲガロウ	ヲガロウ
		ヒラタガロウ	キナタニガロウ クナタニガロウ シロタニガロウ ユモノヒラタガロウ ナシヒラタガロウ エネヒラタガロウ ウエヒラタガロウ キョウトキナヒラタガロウ
		コガロウ	サカコガロウ ヤマトコガロウ ヨシコガロウ クマリコガロウ フタバコガロウ ミジコフタバコガロウ
		トビロガロウ	ヒメトビロガロウ ナシトビロガロウ
		マダガロウ	オオマダガロウ ヨシマダガロウ ネリマダガロウ イナシマダガロウ エラマダガロウ シナガマダガロウ クママダガロウ オクママダガロウ アカマダガロウ ケンマダガロウ

綱名	目名	科名	種名
(昆虫)	(ガロウ)	カガロウ	キコカガロウ
		モカガロウ	フタシヤカガロウ モカガロウ
	トネ	イトネ	イトネ 科の一種
		モサイトネ	モサイトネ
		アイトネ	アイトネ
		カトネ	カトネ
		サイトネ	ダビサエ ヤサエ オサエ コサエ ササエ タサエ
		ホヤノ	ホヤノ
		ヤノ	ホヤノ ホリヤノ
		エイトネ	トライトネ コヤイトネ カイトネ
		トネ	オサカイトネ リスカイトネ
	カガラ	ナカガラ	フナナカガラ 属の一種 ナカガラ 属の一種 ユビナカガラ 属の一種
		クカガラ	クカガラ科の一種
		ヒメカガラ	ナカガラ ナシナカガラ
		アミカガラ	ミドリカガラ科属の一種
		カガラ	コガタカガラ 属の一種 ナシカガラ ナシカガラ属の一種 フタカガラ属の一種
	カメシ	アメン	ヒメアメン アメン シメアメン
		マアメン	マアメン
		タコウチ	ミカキリ ヒメミカキリ

綱名	目名	科名	種名	
(昆虫)	アミメグモ	ヘトンボ	ヤマトクサヘトンボ クサヘトンボ ヘトンボ	
		ヒロウグモ	ヒロウグモ科の一種	
		トビ	ヒガナカトビ	ヒガナカトビ
			カトビ	コナカトビ属の一種 クナカトビ属(DC)の一種
			グトビ	グトビ属の一種
			イトビ	ニクオフィラックス属の一種 ブルクトロネア属(PA)の一種
			シトビ	コガシトビ ヤマシトビ属(DC)の一種 キシトビ ウルマシトビ シトビ属の一種
			ナガトビ	ツメナガトビ コナガトビ ヒロアツナガトビ クレンシナガトビ カムナガトビ トランスクイナガトビ ナガトビ属(RA)の一種
			ヤトビ	コヤトビ属の一種 ヤトビ属の一種
			マルトビ	マルトビ
	トビ		アミトビ トビ科の一種	
	エグリトビ		ユエグリトビ属の一種 コンキョトビ エグリトビ	
	ケトビ		ケトビ	
	フトヒゲトビ		ヨツメトビ フタシヅメトビ	
	ホトトビ		ホトトビ	
	アシゲトビ		コバトビ	
	コウチュウ		コガシミスシ	ヒメコガシミスシ
			ゲンゴウ	ヒメゲンゴウ クゲンゴウ
		ミスマシ	オナミスマシ ミスマシ	
		ガムシ	ガムシ ガムシ科(幼虫)の一種	
		ゲン	ゲン	
		ナガハナミ	ナガハナミ科の一種	

綱名	目名	科名	種名	
(昆虫)	(コウチュウ)	ヒラタロシ	マヒガナハナミ属の一種 ヒガナハナミ属の一種 クサガマヒラタロシ ヒラタロシ マシヒラタロシ	
		ヒメロシ	アソガシロシ アソロシ ヒメロシ ヒメロシ亜科の一種	
		ハエ	ガム	アリガム属の一種 アリガム属の一種 アリガム属の一種 アリガム属の一種 アリガム属の一種
			ホカ	ホカ属の一種
			カ	シコオカ アソガカ属の一種
	ユスリカ	モユスリカ亜科の一種 ユスリカ亜科の一種 ユスリカ属の一種 イソユスリカ属の一種 ユスリカ属の一種 ユスリカ属の一種 ユスリカ属の一種 ユスリカ属の一種 ユスリカ属の一種 ユスリカ属の一種		
	ア	ア科の一種		
	ナガア	コモノナガア モノナガア ナガア科の一種 短角亜目の一種		
	計			165種

別 添

関係地域住民からの御意見に対する事業者の回答

本冊子「猪名川総合開発事業余野川ダムについて」を平成6年9月8日から10月7日までの1ヶ月の間、関係地域住民の方々に閲覧を行うとともに、9月9日に地元説明会を行いました。

下表は、9月8日から10月21日までの間に関係地域住民から頂いた御意見とそれに対する事業者の回答です。

意 見	回 答
<p>環境影響調査報告のなかで、動植物現地調査の概要(P.120以降)に記載されている調査箇所(地点)に大向川合流から余野川の上流部(一ノ瀬井堰^{いちのせ}まで)についての調査はなぜ記載されていないのか。</p> <p>建設省の事業説明では一ノ瀬井堰^{いちのせ}までが事業の区域と説明され、用地も協力してほしいとの要請であるが、この矛盾はどのように考えておられるのか。</p> <p>また、追加調査等はいつ、だれがどのような方法で調査されるのか、明確な回答をせよ。</p>	<p>環境の現地調査は、余野川ダム及びダム建設に伴い湛水する区域や御指摘の余野川の上流部も含めた区域等その周辺における自然環境の現状を把握することを目的として実施したものであります。</p> <p>この現地調査は、事前に上記の区域を含む動植物等についての既存の文献や資料等に示されている内容を踏まえ、植物・哺乳類・鳥類・昆虫類等の生態系を考慮した調査手法で昭和51年から平成5年にかけて適正に実施しております。また、特別天然記念物等の注目すべき種については、別途独自の現地調査もあわせて実施しています。これらの調査結果を踏まえ、周辺環境の現状と見通しについて学識経験者の御指導を受け記述しています。</p> <p>御指摘の余野川上流部を含む区域の現地調査の結果、当該区域には注目すべき種の確認がされませんでしたので、あえて現状と見通しについて記述はしておりません。</p> <p>なお、余野川ダムの建設による環境への影響については、今後も引き続きダム事業者が動植物等の環境調査を実施することとしており、予期し得なかつた影響等が生じた場合については適切に対処していきたいと考えています。</p>

意 見	回 答
<p>先の地元説明会(6月20日)に於ける分派 導水路トンネルの計画に対して周辺住民 からあった、^{ひよだにがわ}鴨谷川の水質及び地下水の 変化並びにトンネル工事に伴う発破工事 の騒音や振動の予想が示されていないの はなぜか、これらの問題はどのようにす るのか、明確で誠意ある回答と共に、周 辺住民に対する生活不安解消の方策を明 確に示せ。</p>	<p>^{ひよだにがわ}鴨谷川付近の地下水は、検討結果では 山から透水層である崩積土層・風化岩層 を通して供給されていますが、導水トン ネルの位置は基底の地下水面の基盤岩と なっている不透水層の新鮮岩に設置する ことから、地下水への影響はほとんどな いと考えていますが、トンネル工事に際 してはさらに十分な止水対策等を実施 し、地下水への影響が生じないように努め ることとしています。</p> <p>また、^{ひよだにがわ}鴨谷川の水質についても同様に トンネルの影響はほとんどないと考えて いますが、トンネル工事に際してはさら に十分な止水対策等を実施することとし ています。</p> <p>騒音・振動については、各予測地点に おいてトンネル工事に伴う発破の騒音や 振動を含め影響が最大となる時点におけ る影響予測を行っており、その結果、国 及び大阪府で定められている規制基準を 下回っていることから影響は小さいと考 えています。トンネル工事に際して は、さらに防音扉をつけるとともに、試 験発破により、薬種や薬量の検討を行い 薬量を最少にするなど騒音・振動に十分 配慮して実施します。</p>

意見	回答
<p>環境に及ぼす影響については、工事中及び完成後もモニタリングを実施するとの考えであるが、環境全般における変化を監視するため、これらのモニタリングに地域住民の代表を参加させ、情報を地元で公開せよ。</p> <p>また、予想以上の影響が発生するとみられる場合は即刻工事の中止は勿論の事、その改善方法も地元で開示し、地元の理解を得て工事を進めること。</p>	<p>「猪名川総合開発事業余野川ダムについて」のとりまとめは、環境等の専門的な知識を有している学識経験者に意見を聞き、科学的知見に基づいて行っており、また、工事中及び完成後のモニタリングの方法についても同様に学識経験者の意見を聞いて適切に実施する予定であり、そのモニタリングの結果等については、必要に応じて関係者に説明します。</p> <p>なお、モニタリングを実施して環境全般に与える影響を把握してまいりますが、環境への大きな影響の発生がみられる場合は原因を究明し、改善等適切な措置を講じます。</p>
<p>本計画のダムは多目的ダムであり、洪水調整と既存河川の正常な河川維持及び都市用水(水道用水)の確保が目的と聞くが、このダムを取り巻く宅地開発の調整池の機能や進入道路等は、ダムと開発が一体だと言って来た建設省に対し、宅地開発事業者(企業局)はダムはダム、宅地開発は宅地開発と言っているが、どちらが嘘を言っているのか。</p> <p>ダム事業に係る地権者の一人として、建設省と宅地開発事業者(企業局)はダム事業に係る地元地権者組織に対し、ダムと宅地開発の関連を説明し、取組み状況及び宅地開発の計画について詳細な説明をせよ。</p> <p>なし崩し的に事を運ぼうとするならば、開発区域の旧地主、ダム事業に係る地権者の一人として承服できないので、建設省及び企業局はこれらの一体的な詳細説明を地元地権者組織に早急に実施せよ。</p>	<p>建設省が行うダム事業は、平成3年8月に特定多目的ダム法に基づく基本計画を公示し、鋭意事業の進捗を図っています。</p> <p>大阪府が行う土地区画整理事業は、都市計画法に基づき現在、都市計画の手続きを実施しています。</p> <p>ダム事業と土地区画整理事業は事業区域が隣接しており、箕面市において同地域の開発に伴う水需要に対処するため余野川ダムが水源となっている等密接に関連しております。</p> <p>環境調査、事業実施については、互いに協力しつつ、それぞれが責任を持って実施します。</p> <p>なお、ダム事業と土地区画整理事業は同時期に整備を行いますので、工事はそれぞれの事業者間で調整をしながら実施します。</p> <p>ダム事業に係る説明は、必要に応じて地元関係者に適宜実施してまいります。</p>

意見	回答
<p>ダムと開発が一体であるならば、地域の底上げ及び地元協力に対する還元として、多目的屋根付き施設(ドーム型施設)を建設省及び大阪府(企業局又は土地所有者の大阪府住宅供給公社)は建設誘致せよ。</p> <p>また、建設省は牽引者であるならば、関連事業者と連携しながら、これらの建設誘致実現に積極的に取り組め。</p>	<p>ダム事業者としては、事業計画区域内において公園等の周辺環境整備を行う予定です。</p>

